

# 2021年度 年次報告書

(2021年4月1日～2022年3月31日)

TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA  
Annual Report 2021-2022



2021年5月27日特別演奏会 指揮=ジョナサン・ノット

# Message

## ご挨拶



平素は東京交響楽団をご支援いただき、心より感謝申し上げます。理事長に新任されまして岡崎哲也でございます。

2020年春からの新型コロナウイルス感染症はいまだ収束しておらず、予断を許さない状況が続いております。そうした中、2021年度はいくつかの中止公演もございましたが、極力、積極的に演奏会を開催させて頂き、多くのお客様に温かくエネルギー豊かな音楽をお届けすることが出来たものと自負しております。

この間、皆様からいただいた激励の拍手や応援メッセージは、楽団員一人ひとりに音楽を奏でる喜びと情熱を授けてくださいました。加えて多くの方々からいただいたご寄付は当楽団の存続と発展の大きな支えとなっております。皆様のご支援に改めて心よりお礼申し上げます。

現在、当楽団は各方面から日本のトップクラスにあるというご評価をいただいておりますが、皆様からの温かいご声援に報いることができますよう、さらに邁進して参ります。

皆様のご健勝をお祈り申し上げます共に、当楽団の奏でる音楽にどうかご期待ください。

東京交響楽団

理事長 **岡崎 哲也**

## 2021年度活動概要

### 定期演奏会

4月は、原田慶太楼の正指揮者就任記念公演で、プログラムは、原田が活動拠点とするアメリカ(バースタイン:セレナード/Vn=服部百音、他)と指揮を学んだロシアの作品(ショスタコヴィチ10番)を取り上げた。“原田と東響のコンビの潜在力を感じさせた一夜であった。”(安田和信)と期待が込められた正指揮者デビューとなった。5月の定期は中止し、急速、ノット監督の指揮による特別演奏会を開催した。

6月は外来アーティストに代わり、指揮に飯守泰次郎、ハーブ吉野直子が出演。“ブルックナー(7番)の最も優れた言葉を誠実にみずみずしく音に構築”(浅岡弘和)と深い感動を呼んだ。7月定期は音楽監督ノットが来日し、当楽団の首席奏者(チェロ:伊藤文嗣、ヴィオラ:青木篤子)によるR.シュトラウス:「ドン・キホーテ」と後半のシベリウス:交響曲第5番との対比もあざやかな演奏となった。9月には桂冠指揮者のユベール・スターンとメゾ・ソプラノの加納悦子による「愛」をテーマにしたフランス・プログラム。幻想交響曲ではスターンらしい構築されたアンサンブルの中にエネルギーに満ちた音楽を聴かせた。10月定期、神尾真由子のベルク:ヴァイオリン協奏曲はノット東響との音楽の方向性が一致した好演であった。“咆哮しない、しなやかなブルックナー「ロマンティック」は新たな地平で語られるべきスタイル”(戸部亮)と評された。

11月は指揮者ウルバンスキ以外の外国人歌手の来日が叶わず、日本人歌手によるオルフ「カルミナ・ブラーナ」で、合唱付き(新国立劇場合唱団)公演に臨み、当団との相性の良さを示した。12月のノット指揮、ブラームス:ピアノ協奏曲には名匠ゲルハルト・オピッツが代役で登場して正統派のドイツ音楽を聴かせ、1月の桂冠指揮者 秋山和慶指揮のブラームス・プログラムは、“音楽の輪郭は克明にしながら響きは豊麗”(保延裕史)と称賛された。3月は沼尻竜典指揮による、ラヴェル・プログラム、ソプラノの中村恵理の気品溢れる歌唱は白眉であった。

### その他 主催公演

東京オペラシティシリーズで特筆すべきは、ノット音楽監督指揮の10月のモーツァルト:レクイエム。途中、合唱のアカペラによるリグゼティ作曲「ルクス・エテルナ」演奏を挟み、一筋縄ではいかないプログラムを聴かせた。

川崎定期演奏会は、コロナ禍で始まったニコニコ動画のライブ配信を全6公演で行い、全国各地から視聴があり、新しい聴衆を開拓することができた。

特別演奏会として、5月22日、27日ノット音楽監督によるマラー-交響曲第4番(ソプラノ=森麻季)、とマラー-第1番「巨人」を入場者率50%で開催した。細部までこだわった熱気に溢れる演奏で、待ちわびたファンに応えた。感染症対策を強化して「第九」と「ニューイヤーコンサート」は開催され、年末年始を彩った。

また、コロナ禍で代役として登場した、ヴァイオリンの弓新、ソプラノ

盛田麻央、ピアノ北村朋幹、奥井紫麻など、若い才能に触れる機会が多かったことは収穫であった。

### フランチャイズ 事業

川崎市内の公演は、音楽鑑賞教室8公演、依頼公演による「映画音楽」、「ミュージアの日」、フェスタサマーミュージア等12公演が、感染症対策を充分に行った上で全て開催された。フィナーレ公演では、障がい者と一緒に音楽活動をするくわさき=ドレイク・ミュージックアンサンブルプロジェクトで、市内の特別支援学校生徒と、音楽家が行ったワークショップを通して作曲された作品を、原田慶太楼指揮の東響が演奏した。“日本のバリアフリー音楽活動が進むきっかけとなる演奏会”として注目された。

名曲全集は昨年度から延期になった公演も含めて10公演実施できたことは大きな力となった。

### 青少年育成 プログラム、 社会貢献事業

サントリーホールとの共催の「こども定期演奏会」は20周年を迎え、4月はこども定期初代指揮者の大友直人の指揮で、こども時代に共演し、現在は第一線で活躍するソリストたちと再共演した。また、こども奏者出身の小林杏成がコンサートマスターに就任し、20年続けてきた成果を見せた。「10歳からのオーケストラ」は、コロナ禍で2年連続中止。

文化庁“文化芸術による子供の育成事業”は公演を予定していた10校が全て延期となったが、京都を含む6校への訪問が実現し、音楽を届けることができた。

### 依頼公演

サントリーホール35周年ガラコンサートと、復活したホール・オペラ「ラ・トラヴィアータ」はいずれも元当団首席客演指揮者のニコラ・ルイゾッティによって指揮され、その音楽の神髄に迫る演奏は深い感動を与えた。

新国立劇場は、オペラ「さまよえるオランダ人」「愛の妙薬」「椿姫」、バレエ「ペンギン・カフェ」でピットに入り、入国規制によるキャストの変更も多かったが、各公演が高く評価された。

2月の新国立劇場バレエ「吉田都セレクション」3公演、「ようこそ、シンデレラのお城へ」2公演は関係者のコロナ感染で中止となった。

### その他

角川武蔵野ミュージアムオープン1周年記念企画として「オーケストラコンサートin浮世絵劇場」が開催された。浮世絵をモチーフにした360度のプロジェクションマッピングにオーケストラの生演奏が融合し、華麗で幻想的な映像と音の世界を繰り広げ、その模様はライブでも配信された。(原田慶太楼指揮)

# Fiscal Report

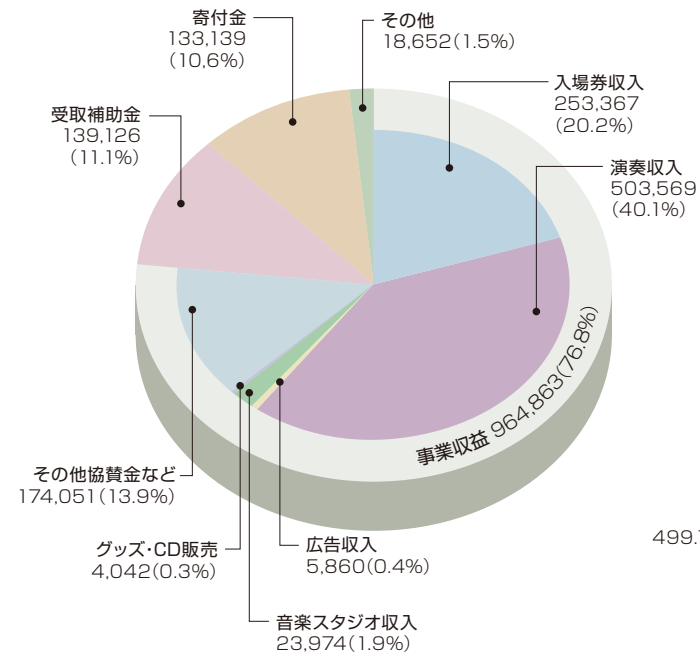
## 財産・運営状況について

科目	2021年度	2020年度	2019年度
経常収益計	1,255,780	1,221,083	1,224,582
内・事業収益	964,863	762,163	1,010,027
内・受取補助金	139,126	105,061	99,947
内・寄附金	133,139	178,865	107,366
経常費用計	1,198,988	1,119,169	1,239,021
当期経常増減額	56,792	101,914	△14,439

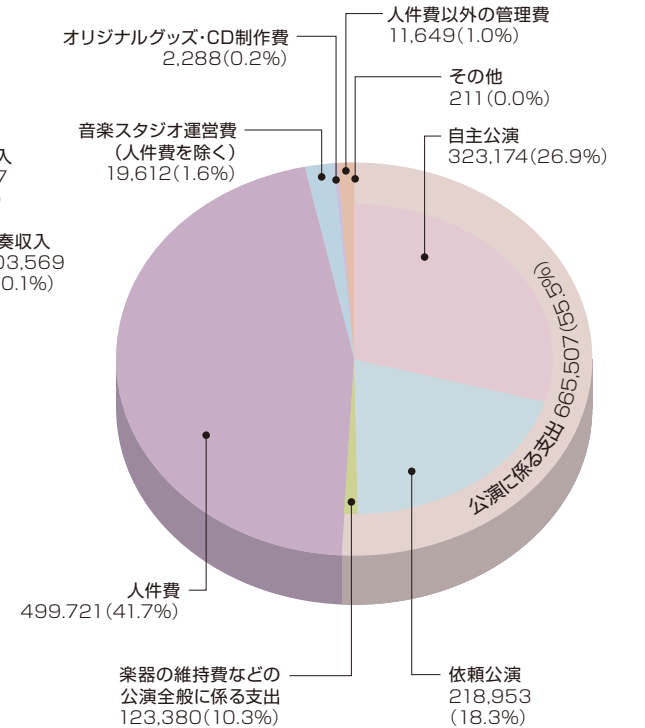
新型コロナウイルス感染症の流行による打撃をまともに受けた2020年度に比べ、2021年度は、入場料収入、演奏収入ともに回復の兆しが見えるもののまだ全体の収益は元にもどっていない。外国人アーティストの入国制限により、出演料、渡航費、滞在費等の

経費が減ったことと、引き続き雇用調整助成金をはじめとする各種助成金制度の利用や、多くの個人や法人、団体からの寄付により赤字を避けることができた。次年度は演奏収入の回復が重要になってくる。

収入(2021年度) **1,255,780** (単位:千円)



支出(2021年度) **1,198,988** (単位:千円)



# Members

## サポート会員 (2021年7月1日現在)

### ■法人会員

#### プラチナ会員

株式会社エイチ・アイ・エス  
株式会社ドワンゴ

#### ダイヤモンド会員

有限責任 あずさ監査法人  
株式会社伊藤総合事務所  
株式会社インサイド・アウト  
環境ステーション株式会社  
学校法人創志学園

株式会社ティー ワイ リミテッド  
株式会社日本財託  
株式会社パソナグループ  
株式会社ワイ・ティ・ピー

#### ゴールド会員

株式会社あ佳音  
株式会社青山メインランド  
オリエンタル酵母工業株式会社  
サントリーホールディングス株式会社  
新菱冷熱工業株式会社  
社会医療法人財団石心会  
セントラル短資FX株式会社  
玉川学園・玉川大学  
玉の肌石油株式会社  
中外製薬株式会社  
株式会社TFDコーポレーション

株式会社鉄鋼ビルディング  
株式会社トーションパートナーズ  
西松建設株式会社  
株式会社NIPPO  
株式会社日本M&Aセンター  
ヒノキ新薬株式会社  
司法書士法人 ふなざき総合事務所  
株式会社ぶらう  
ミヨシ油脂株式会社  
ヤマザキビスケット株式会社  
横浜自動車部品株式会社

#### シルバー会員

株式会社エスティア  
株式会社NHKビジネスクリエイト  
公益財団法人青梅佐藤財団  
川崎信用金庫  
松竹株式会社

月島食品工業株式会社  
東京鐵鋼株式会社  
本田技研工業株式会社  
司法書士法人村田事務所  
株式会社LALLヒューマンホールディングス

#### ブロンズ会員

アーティス ホールディングス株式会社  
NPO法人かわさき市民アカデミー  
酒蔵駒八 別館  
株式会社シグマコミュニケーションズ  
新宿村スタジオ

有限会社青史堂印刷  
ニッシンエレクトロ株式会社  
富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社  
神奈川支社  
前山歯科医院

#### 賛助企業

アサヒビール株式会社  
東海大学教養学部 芸術学科音楽学課程

政鬼運輸株式会社  
山崎製パン株式会社

匿名2社

### ■個人会員

#### サークル50

浅川有基	澤田秀雄	山本誠一郎
磯村文靖	清水尚彦	横川 端
伊藤晴美	長瀬雅則	依田 巽
伊藤美樹	山口積恵	匿名4名
鷺海量明	山口知子☆	
木暮紀子	山口 学	☆名誉パトロン

#### サークル25

石川晴代	加藤英輔	福川伸次
猪田隆文	後藤 実	匿名5名
岡野一哉	鈴木信恵	
沖田陽子	戸川二郎	

#### サークル10

天野佳和	清水幹雄	満田高久
新井祥一	白井恭一	三橋祐太
荒木陽子	高澤美貴子	皆川雅俊
五十嵐建平	高津麻子	峯岸恭博
井澤菜緒子	高野幸一	村本信幸・京子
稲田めぐみ	高野正裕	森口 健
井上孝昭	高島琢己	森口優子
岩城慶太郎	高家正行	森下国彦
内山誠彦	田口之博	八嶽 昭
梅沢麻衣	田中健一	山上典彦
遠藤秀和	田中 進	山口重雄
大内田由紀子	谷川 啓	山本 明
大城明幹	谷藤明雄	吉井久美子
大島 肇	千葉 清	吉村美恵子
太田純子	角田 隆・直子	米岡修一
太田ひろみ	直子	若杉恵介
大塚具幸	鶴原暁生	匿名17名
大場潤一	鶴原朝子	
大類 浩	手塚和彦	
岡 邦子	中澤正	
梶井龍太郎	中村誓吾	
片山泰輔	中村 豊	
金山尚弘	成瀬倉祥	
金田好生	橋本純一	
木賀賢市	長谷川泰弘	
菊池光剛	早川正希	
小林 光	原田美保子	
古丸 健	アーネストM.比嘉	
近藤和喜夫	平川尚義・暢子	
斎藤脩司	暢子	
佐々木真	枇杷高志	
佐藤大助	古庄忠雄	
佐野利勝	増岡聡一郎	
塩沢誠司	三浦麻子	
渋谷慎吾	水越睦美	

# Tokyo Symphony Orchestra

## 公益財団法人 東京交響楽団

■音楽監督……………**ジョナサン・ノット**  
 ■桂冠指揮者……………**秋山和慶／ユベール・スダーン**  
 ■正指揮者……………**原田慶太楼**  
 ■名誉客演指揮者……………**大友直人**  
 ■永久名誉指揮者……………**アルヴァイド・ヤンソンス◆／上田仁◆／遠山信◆**  
 ■名誉コンサートマスター……………**大谷康子**  
 ■コンサートマスター……………**小林杏成／グレブ・ニキティン／水谷 晃**  
 ■アシスタント・コンサートマスター……………**田尻 順／廣岡克隆(2022年10月末日まで)**

会 長	澤田秀雄	監 事	磯村文靖
理事長	岡崎哲也		寺西基之
副理事長	平澤 創	評議員長	金山茂人
	依田 巽	最高顧問	
常務理事	辻 敏	評 議 員	梅沢一彦
理 事	阿部武彦		鷺海量明
	池辺晋一郎		片山泰輔
	伊藤美樹		加藤英輔
	大橋 博		西村 朗
	庄司 薫		星 久人
	竹中平蔵		山添 茂
	永山 治	特別顧問	飯島延浩
	夏野 剛		草壁悟朗
	南部靖之		福田紀彦
	福川伸次		
	藤原 洋		
	増岡聡一郎		

<b>1st Violins</b> ○木村正貴 ○堀内幸子 小川敦子 立岡百合恵 土屋杏子 中村楓子 森岡ゆりあ 吉川万理	<b>Violas</b> ◎青木篤子 ◎武生直子 ◎西村真紀 ○多井千洋 ○山廣みほ 小西応興 鈴木まり奈 永井聖乃 長谷山博史*	<b>Flute</b> ◎相澤政宏  <b>Flutes &amp; Piccolos</b> 高野成之 濱崎麻里子  <b>Oboes</b> ◎荒絵理子 ◎荒木奏美 浦脇健太*	<b>Horns</b> ◎上間善之 ◎大野雄太 ◎ジョナサン・ハミル 加藤智浩 阪本正彦 溝根伸吾  <b>Trumpets</b> ◎佐藤友紀 ◎澤田真人 野沢岳史 松山 萌	<b>Timpani &amp; Percussions</b> ◎清水 太 武山芳史 綱川淳美 新澤義美  <b>Harp</b> ◎景山梨乃  <b>Librarians</b> 加藤幸子 林 知也*	<b>楽団長</b> 廣岡克隆  <b>編成局長</b> 藤原 真  <b>パーソネル・マネージャー</b> 大和浩明  <b>事務局長</b> 辻 敏  <b>事務局</b> 市川萌都 伊藤瑛海 小川博司 ■尾木貴雄 桐原美砂 佐藤雄己 高瀬 緑 竹内裕子 長久保宏太郎 山田道子 □梶川純子  ■本部長 □シニア・ディレクター
<b>2nd Violins</b> ◎清水泰明 ◎服部亜矢子 ◎坂井みどり ○加藤まな ○福留史紘 阿部真弓 河裾あずさ 塩谷しずか 鈴木浩司 竹田詩織 渡辺裕子 辻田薫り* 水谷有里*	<b>Cellos</b> ☆伊藤文嗣 ○川井真由美 蟹江慶行 謝名元 民 樋口泰世 福崎茉莉子 内山剛博*	<b>Oboe &amp; English horn</b> 最上峰行  <b>Clarinets</b> ◎エマニュエル・ヌグー ◎吉野亜希菜 近藤千花子 小林利彰  <b>Bassoons</b> ◎福井 蔵 ◎福士マリ子 坂井由佳 前関祐紀	<b>Trombones</b> ◎鳥塚心輔 ◎大馬直人 住川佳祐  <b>Bass Trombone</b> 藤井良太  <b>Tuba</b> 近藤陽一*		

☆ソロ首席奏者 ◎首席奏者 □客演首席奏者 ○フォアシュペーラー ★チーフ \*研究員 ◆故人

(2022年8月1日現在)

# Across the 2021/22 Season

## 演奏記録(全139公演)

### ●自主公演(45回)

定期演奏会 (第689回~第698回/第690回は公演中止)	9回
川崎定期演奏会 (第79回~第85回/ 第79回は2020/21シーズンの延期公演)	6回
東京オペラシティシリーズ (第120回~第125回)	6回
名曲全集 (第166回~第175回)	10回
こども定期演奏会 (第77回~第80回)	4回
特別演奏会	10回

### ●依頼公演(85回)

新潟定期演奏会	6回
オペラ・バレエ公演	24回 (中止5回)
音楽鑑賞教室・青少年のためのプログラム	16回 (中止12回)
その他	39回

### ●その他の事業(9回)

録画・録音	9回
-------	----



原田慶太楼 正指揮者就任記念「第689回定期演奏会」  
2021年4月17日 サントリーホール



フェスタサマーミュージザ フィナーレ「かわさき組曲」  
(かわさき=ドレイク・ミュージックアンサンブルプロジェクト)  
指揮=原田慶太楼  
2021年8月9日 ミューザ川崎シンフォニーホール



新国立劇場バレエ団「ニューイヤー・バレエ」より「ペンギン・カフェ」  
指揮=富田実里 振付=デヴィッド・ピントレー  
2022年1月(撮影:長谷川清徳) 写真提供:新国立劇場



新国立劇場オペラ「椿姫」  
指揮=アンドリー・ユルケヴィチ  
2022年3月(撮影:堀田力丸) 写真提供:新国立劇場



ニコニコ動画ライブ配信  
2021年4月17日 第689回定期演奏会  
サントリーホール



「第九」特別演奏会  
指揮=ジョナサン・ノット  
2021年12月28、29日 サントリーホール



「こども定期演奏会第77回」20周年ガラ  
指揮=大友直人 司会=坪井直樹  
2021年4月18日 サントリーホール



ホール・オペラ「ラ・トラヴィアータ」  
指揮=ニコラ・ルイゾッティ  
2021年10月7、9日 サントリーホール  
写真提供:サントリーホール



「カルミナ・ブラーナ」第695定期演奏会  
指揮=クシシュトフ・ウルバンスキ  
2021年11月13日 サントリーホール



「オーケストラコンサートin浮世絵劇場」  
指揮=原田慶太楼  
2022年1月6日 角川武蔵野ミュージアム



## TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA

Jonathan Nott, Music Director

1946年、第二次世界大戦によって中断された音楽文化の再建と、新しい舞台音楽の公演を目標に「東宝交響楽団」として創立。1951年に東京交響楽団に改称し、現在に至る。

現代音楽やオペラの初演に定評があり、これまでに文部大臣賞、京都音楽賞大賞、文化庁芸術作品賞、モービル音楽賞、サントリー音楽賞、川崎市文化賞など日本の主要な音楽賞の殆どを受賞。舞台芸術創造活動活性化事業として文化庁の助成を受け、サントリーホール、ミュゼ川崎シンフォニーホール、東京オペラシティコンサートホールで主催公演を行うほか、川崎市とフランチャイズ、新潟市と準フランチャイズ提携し、コンサートやアウトリーチなどを積極的に展開。2020年には「マッチングギフトコンサート」が川崎市の支援のもと開催され、自治体とオーケストラによる前例のない取組が注目を集めた。これら地域に密着した活動の一方で、海外においてもウィーン楽友協会での公演や日中平和友好条約締結40周年記念公演等、58都市で78公演を行い国際交流の実を挙げてきた。

新国立劇場では1997年の開館時からレギュラーオーケストラとして毎年オペラ・バレエ公演に出演。子どものための演奏会にもいち早く取り組んでおり、「0歳からのオーケストラ」「こども定期演奏会(サントリーホールとの共催)」は多方面から注目されている。また、録音や放送においても活発で、テレビ朝日「題名のない音楽会」へレギュラー出演や、TOKYO SYMPHONYレーベル、N&Fレーベル、

キングレコード、EXTONレーベル、日本コロムビア等からCDを多数リリース。

2014年シーズンよりジョナサン・ノットが第3代音楽監督に就任。音楽監督と共に3年がかりで取り組んだ「モーツァルト 演奏会形式オペラシリーズ」や、ミュゼ川崎シンフォニーホール開館15周年記念公演《グレの歌》はいずれも高い評価を得た。2019年にはジョナサン・ノット指揮『マーラー：交響曲第10番 & ブルックナー：交響曲第9番』が「ミュージック・ペンクラブ音楽賞優秀録音作品賞」を受賞。音楽誌「音楽の友」の『41人の音楽評論家・記者が選ぶ「コンサート・ベストテン2019」』で最多の3公演が選出されたほか、2020年には音楽監督とともに「ミュージック・ペンクラブ音楽賞オペラ・オーケストラ部門、室内楽・合唱部門(東響コーラス)」をW受賞した。

ITへの取り組みも積極的で、「VRオーケストラ」や、日本のオーケストラとして初の音楽・動画配信サービス『TSO MUSIC&VIDEO SUBSCRIPTION』をスタート。2020年3月ニコニコ生放送でライブ配信した無観客演奏会は約20万人が視聴した。2021年3月文化庁委託事業「文化芸術収益力強化事業」では代表幹事団体として、全国のプロオーケストラとともにチームラボボーダレスでの新感覚コンサートを開催、プロオーケストラとして初めて電子チケットを本格導入した。

公式サイト：<https://tokyosymphony.jp/>

## ～皆様からのご支援お待ち申し上げております～

東京交響楽団の活動は個人・法人の皆様からのあたたかいご寄付とともに成り立っています。財政状況や定款、税制上の優遇措置についてはウェブ上でもご覧いただけます。

ご質問等ございましたら東京交響楽団川崎オフィス支援開拓本部までお問い合わせください。

## 公益財団法人 東京交響楽団

Tel:044-520-1518 <https://tokyosymphony.jp>

本部 〒169-0073 東京都新宿区百人町2-23-5

川崎オフィス 〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310 ミュゼ川崎セントラルタワー5階

